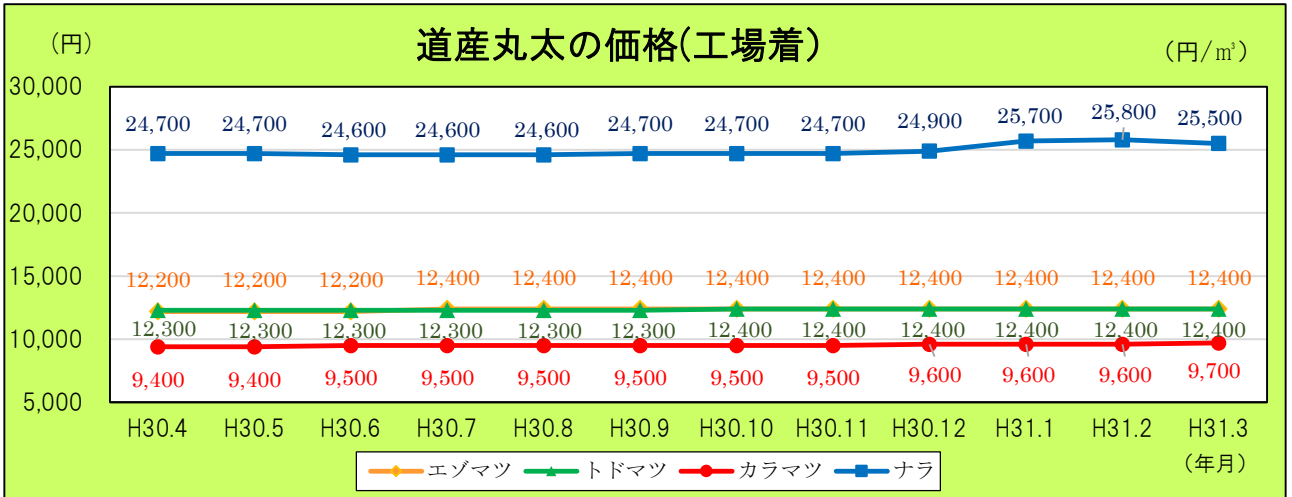


行政の窓

平成30年度の木材市況について — 道産木材の動向と価格の推移 —

【道産丸太】

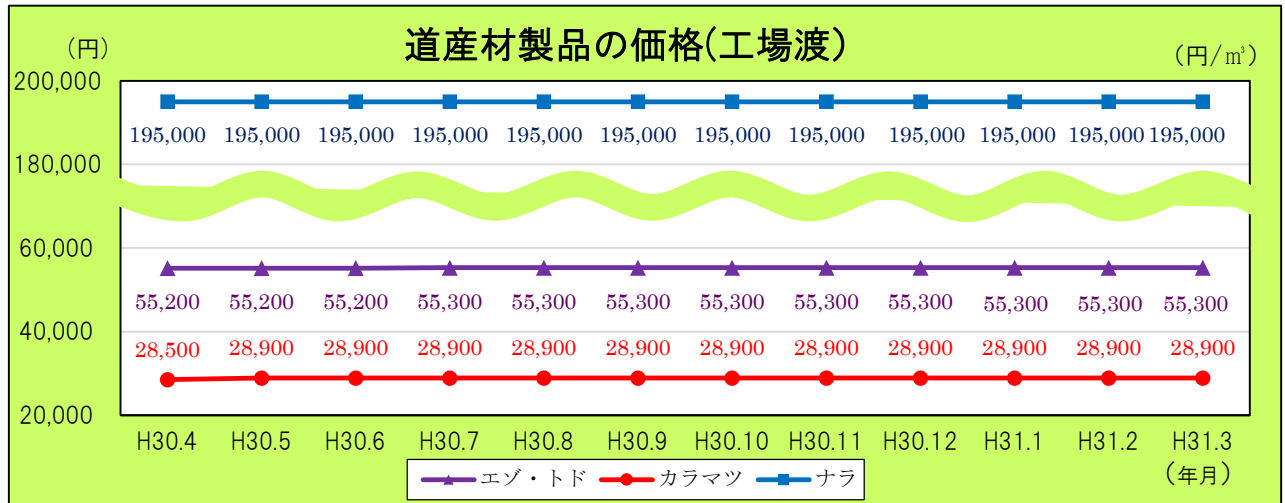
平成30年度は、近年続いている丸太不足のため引き合いが強まり、針葉樹（エゾ・トド・カラマツ）の価格は上昇傾向となりました。特にカラマツは不足感が強く、トドマツでは小径木の不足が目立ちました。広葉樹（ナラ）は夏場に若干の値下がりが見られましたが、その後上昇し、高値で推移しました。



- 【エゾマツ】 【トドマツ】・・・径24～28cm, 長さ3.65m, 品等込
- 【カラマツ】・・・径14～18cm, 長さ3.65m, 品等込
- 【ナラ】・・・径30～38cm, 長さ2.4m上, 品等3等

【道産材製品】

平成30年度の新設住宅着工数は前年に比べ若干減少しましたが、エゾ・トド製材価格は夏頃に上昇が見られました。カラマツ製材は梱包材等の産業用資材や栈木等の建築材が堅調な荷動きを続けたことから、高値で推移しました。広葉樹（ナラ）製品は、年間を通して高値で推移しました。



- 【エゾ・トド】・・・甲Ⅱ-2級, 10.5cm×10.5cm×3.65m
- 【カラマツ】・・・梱包材, 定尺
- 【ナラ】・・・板類1等, 2.7cm×15cm上×2.0m以上

☆ 北海道庁林業木材課ホームページ/木材市況調査

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/mokuzaisikyoku.htm>

(水産林務部林務局林業木材課流通加工グループ)